

問題作成の基本的な考え方

各設問の正答率や誤答の状況から課題の有無を把握し、学習指導の改善・充実を図ることができるよう、特に、次の点に配慮して作成。

- ① 学習指導要領の理念・目標・内容等に基づくものとし、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題すること。
- ② 主として「知識」に関する問題（A）と主として「活用」に関する問題（B）を作成すること。
- ③ 教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等につながるよう、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。
- ④ 児童生徒が時間的余裕を持って解答に取り組むことができるよう、問題の分量が、調査時間（解答時間）に照らして適切なものとなるよう努めること。
- ⑤ 「4年間のまとめ」（※）で指摘した課題や平成24年度～27年度調査で見られた課題を踏まえた問題も出題すること。
（国語，算数・数学：147問中 39問（約27%））

※ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、成果と課題を整理した報告書（概要は、P2を参照）

全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～（概要）

○ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、「成果」と「課題」を整理した報告書

「成果」として認められる内容（一例）

小学校国語	比較的自由度の高い条件で記述すること
小学校算数	示された図形の面積を求めること
中学校国語	話の内容から必要な情報を的確に聞き取り、適切な質問をすること
中学校数学	図形領域で、作図の手順の理解、基本的な平面図形の性質の理解、証明の中で根拠として用いられる平行線の性質の理解、2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相等関係を指摘すること

課題として考えられる内容

小学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと

<「書くこと」における課題>

- ② 調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること
- ④ 目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ⑤ 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解すること

中学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明すること

<「書くこと」における課題>

- ② 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 目的をもち、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ④ 辞書に書かれている記述から、語句の意味を適切に捉えること

小学校算数

<「数と計算」における課題>

- ① 乗法や除法の意味を理解すること

<「量と測定」における課題>

- ② 求積に必要な情報（図形の長さ及び図形の性質）を取り出して面積を求めること

<「図形」における課題>

- ③ 図形の性質を基に事象を判断すること

<「数量関係」における課題>

- ④ 計算の順序についてのきまりなどを理解すること
- ⑤ 割合の意味を理解すること

中学校数学

<「数と式」における課題>

- ① 方程式における移項の意味を理解すること。方程式をつくって問題を解決するために数量の関係を捉えて2通りに表せる数量に着目すること

<「図形」における課題>

- ② 証明の必要性和意味を理解すること。円柱と円錐の体積の関係を理解すること

<「数量関係」における課題>

- ③ 2つの数量の関係が比例・反比例・一次関数の関係になることを理解すること。二元一次方程式の解を座標とする点の集合は直線として表されることを理解すること

<記述式問題における課題>

- ④ 予想した事柄を数学的な表現を用いて説明すること（事実・事柄の説明）
問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明すること（方法の説明）
事柄が成り立つ理由を説明すること（理由の説明）

<数学的に表現したり、数学的に表現されたものの意味を読み取ったりすることにおける課題>

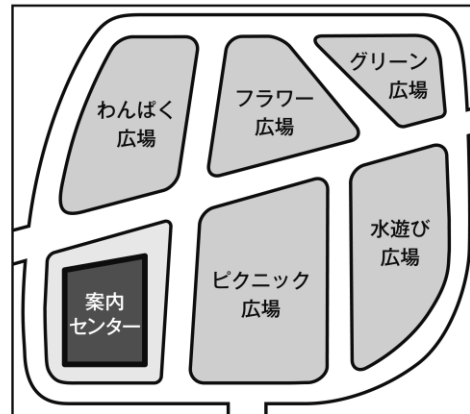
- ⑤ 関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること

特徴的な問題例（小学校国語A）

5

山田さんは、学校の遠足で「南町公園」に行くことになりました。そこで、グループで活動する広場を決めようとしています。次の【南町公園案内図】と【パンフレットの一部分】をよく読んで、「山田さんのグループの希望」に最も合う広場を、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【南町公園案内図】



【パンフレットの一部分】

広場	広場の説明	飲食	ボール使用
わんぱく広場	小さい子ども向けの遊び場です。小学生以上は遊べません。	○	○
フラワー広場	花畑があり、季節の花を楽しむことができます。	×	×
グリーン広場	段ボールなどですべり降りることができる芝生の斜面があります。	○	○
ピクニック広場	眺めがよく、公園の中で一番広い広場です。	○	○
水遊び広場	噴水があります。夏には、水遊びができます。	○	×

【山田さんのグループの希望】

ボール遊びができて、お弁当を食べることのできる広場に行きたい。
集合場所の「案内センター」にできるだけ近いところがいいね。



- 1 わんぱく広場
- 2 フラワー広場
- 3 グリーン広場
- 4 ピクニック広場
- 5 水遊び広場

A 5 図と表とを関係付けて読む

出題の趣旨

- 「4年間のまとめ」の課題(目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらと関係付けて読むこと)を踏まえ、目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことができるかどうかをみる

問題の概要

公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する

正答

4

特徴的な問題例（小学校国語B）

3

谷口さんたちは、将来なりたい職業について調べ、クラスの中で紹介し合うことにしました。谷口さんは、パン職人を選び、【資料1】を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、【資料2】も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

焼き立てのかおりに包まれて


パン職人の仕事

《パン屋さんの一日》

5:00	パンの生地の確認 パンの形作り、焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り、焼き
14:00	翌日の天気確認 翌日の生地作り
17:00	片付け 翌日の準備
19:00	閉店

朝5時からパン作り開始
7時の開店に焼き立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発酵させ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気
パンの仕上がりは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合や量を調節します。



《パン職人への道》

```

graph TD
    A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
    A --> C[⑤ 助手として修業]
    B --> D[③ 大学・短期大学]
    B --> E[④ 専門学校]
    B --> C
    D --> E
    E --> F[⑥ パン職人]
    C --> F
    
```

【資料2】パン職人について書かれた本のインタビューのページ

パン職人の声



「パン職人の坂下さんに聞いてみました」

◆ パン職人になったきっかけを教えてください。
子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えるようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。
中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たってパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

◆ この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。
同じ種類のパンでも、材料の分量や焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるので、毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思い通りに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。
わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいに包まれないながら、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦労がふき飛びます。

焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「わあ。」「おいしそう。」とかん声が上がることがありますが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声が聞こえた時は、パン職人をやっているよかったです。実感します。

B 3 将来なりたい職業について調べ、紹介する〈職業「パン職人」〉

特徴的な問題例（小学校算数A）

A 9 場面の読み取りと立式, 百分率

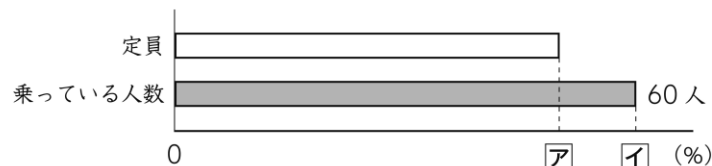
9

次の問題に答えましょう。

- (1) バスに乗る人が、バス停に^{なら}一列に並んで待っています。
さゆりさんの前に10人、後ろに19人います。
バス停に並んでいる人数は全部で何人ですか。
求める式と答えを書きましょう。



- (2) バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。
定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。

「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

20 80 100 120

出題の趣旨

- (1)示された場面を適切に読み取り、場面を式に表すことができるかどうかをみる
- (2)「4年間のまとめ」の課題(割合の意味を理解すること)や平成27年度調査での課題(示された情報から基準量と捉え、比較量と割合から基準量を求めること)を踏まえ、割合が百分率で表された場面で、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるかどうかをみる

問題の概要

- (1) 前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く
- (2) 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く

正答

- (1)〈式〉 (例) $10+1+19$
〈答え〉 30(人)
- (2) 「ア」 100 「イ」 120

特徴的な問題例（小学校算数B）

B 4 資料の読み取りと判断の根拠の説明（本の貸出冊数調べ）

4

A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。



次の資料は、4月から7月までの4か月間の、各学校の本の貸出冊数の様子をまとめたものです。



わたしは、どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかを、**各学校の1人あたりの貸出冊数**で比べたいです。
1人あたりの貸出冊数を求めるためには、**各学校の貸出冊数の合計**のほかに、何を調べたらよいか。

(1) あさこさんのように**各学校の1人あたりの貸出冊数**を求めるためには、表1の の**各学校の貸出冊数の合計**のほかに、どのような数が必要ですか。

下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

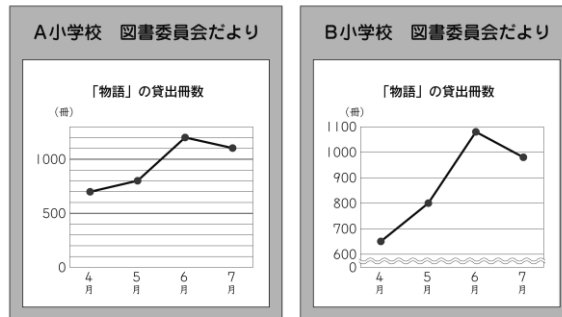
- 1 各学校の、図書館を利用した人数
- 2 各学校の、学校全体の児童の人数
- 3 各学校の、図書館にある本の冊数
- 4 各学校の、本の種類ごとの貸出冊数

(2) A小学校の図書委員たちは、4月から7月までの4か月間の貸出冊数について、下の **1** から **4** までのように話しています。

下の **1** から **4** までの **—** 部のことについて、表1、表2だけではわからないものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 どちらの学校も6月の貸出冊数がいちばん多いですね。校内読書週間の効果だと思います。秋にも校内読書週間をしましょう。
- 2 A小学校は「物語」の貸出冊数がいちばん多いですね。おもしろかった物語について、しょうかい文を書いてもらいましょう。
- 3 5月は「伝記」の貸出冊数が少ないですね。ポスターを作って呼びかけましょう。
- 4 A小学校の貸出冊数は、合計で9738冊ですね。次の4か月間は10000冊以上を目指しましょう。

(3) 各学校の図書委員たちは、読書活動をすすめた成果を表すために、4月から7月までの4か月間の「物語」の貸出冊数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめました。



けんたさんは、上の2つのグラフの、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。



A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの線のかたむきが急です。
だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きいです。

けんたさんが言っている、**—** 部のことは正しくありません。そのわけを、グラフから読み取れる貸出冊数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

4月から7月までの4か月間の 各学校の 本の貸出冊数の様子

表1 「各学校の月ごとの貸出冊数（冊）」

学校	月	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校		986	2918	3414	2420	9738
B小学校		849	2523	2938	2095	8405

表2 「A小学校の本の種類ごとの貸出冊数（冊）」

物語	科学	歴史	伝記	その他	合計
3800	1977	1496	989	1476	9738

A小学校の図書委員たちは、上の表1の の部分を見て、次のように話し合っています。



どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかな。



各学校の貸出冊数の合計で比べると、A小学校のほうが多いです。だから、A小学校だと思います。

出題の趣旨

- 日常生活の問題の解決に向けて、必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりすることができるかどうかをみる
- (1) 単位量当たりの大きさを求めるために必要な情報を判断し、収集すること
- (2) 複数の表から読み取ることができる事柄と読み取ることができない事柄を判断すること
- (3) 解釈が正しくないことの原因を、グラフの視覚的な変化の様子のみにとらわれずに、グラフから読み取ることができる情報を根拠にして説明すること

問題の概要

- (1) 学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ
- (2) 示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ
- (3) A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読み取った事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く

正答

- (1) 2
- (2) 3
- (3) (例)

5月から6月までの「物語」の貸出冊数は、A小学校が約400冊増えていて、B小学校が約300冊増えています。だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないです。

特徴的な問題例（中学校国語A）

A 8 奥付を読む

- 一 この資料集を活用するときの留意点を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 この資料集を書いたのは青木太郎さんなので、内容に興味をもった場合は青木太郎さんの他の本も参考にする。
- 2 この資料集は発行から十年以上たつので、資料集の中の情報が自分の目的に合っているかどうか確かめる。
- 3 この資料集の内容が難しく分かった場合は、発行所に依頼して別の本に取り替えてもらう。
- 4 この資料集は無断で複写・複製することが禁じられているので、引用する際には書名や著者名などを書かない。

【奥付】

日本の市町村

定価はカバーに表示してあります。

2003年4月10日 初版第1刷発行
 著者 西田夏子
 発行者 青木太郎
 発行所 株式会社 太陽の本社
 〒100-6543
 東京都千代田区中央3-2-1
 印刷 かすみ印刷
 製本 タイガー製本

落丁・乱丁がありましたらお取り替えます。

本書を無断で複写・複製することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

8

次は、「日本の市町村」という資料集の巻末にある【奥付】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

A 9 文の成分の照応

五 次は、世界的に有名な「サグラダ・ファミリア」を紹介する文章【A】と、それを書き直した文章【B】です。書き直した意図として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【A】
 「サグラダ・ファミリア」は、一八八二年からスペインで建設されている建築物です。私は、とても日本人が建設に大きく貢献していることを知って驚きました。

【B】
 「サグラダ・ファミリア」は、一八八二年からスペインで建設されている建築物です。私は、日本人が建設に大きく貢献していることを知ってとても驚きました。

- 1 主語と述語を近づけて、何がどうしたかを明確にしようとした。
- 2 並立の関係にある文節を近づけて、対等の関係にあることを明確にしようとした。
- 3 指示する言葉と指示される言葉を近づけて、何を指しているかを明確にしようとした。
- 4 修飾・被修飾の関係にある文節を近づけて、何を詳しく説明しているかを明確にしようとした。

出題の趣旨

- 資料集の奥付を取り上げ、奥付の特徴や役割について理解したり、その資料集を活用するときの留意点について、奥付を使って考えたりすることができるかどうかをみる。

問題の概要

- 一 奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する
- 二 資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する

正答

一 4 二 2

出題の趣旨

- 文の成分の照応について理解する

問題の概要

- 文章を書き直した意図として適切なものを選択する

正答

4

特徴的な問題例（中学校国語B）

B 1 情報を読む（漆）

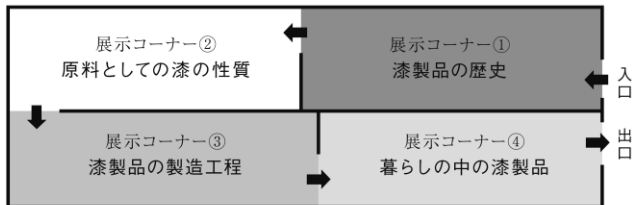
「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1階展示室）



関連イベント

～漆製品を使ってみよう～

漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。

日時：開催期間中の土曜日

午後3時～午後4時

場所：1階特別室

定員：20名（無料・当日受付）

～職人の技を見てみよう～

この道30年の職人による漆塗りの実演を見ることができます。交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。

日時：開催期間中の日曜日

午前10時～午前11時

場所：1階ホール

定員：50名（無料・当日受付）

【博物館の暮らし（表）】

暮らしの中の 伝統文化展



2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：月曜日

入館料：一般300円 大学生・高校生200円
中学生以下無料

第2期：「和紙の世界」6月25日(土)～7月24日(日)

第3期：「織物の世界」7月30日(土)～8月28日(日)

草木市立博物館

〒900-9859 草木市南町7

電話 000-123-xxxx

<http://www.hakubutsukan.xx.jp>

【博物館の暮らし（表）】

1

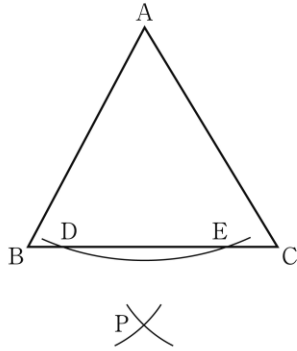
次の「博物館の暮らし（表）」と「博物館の暮らし（裏）」を読んで、あとの問いに答えなさい。

特徴的な問題例（中学校数学A）

A 4 (1) 垂線の作図

4 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の図の $\triangle ABC$ において, 下の①, ②, ③の手順で直線APを作図します。



作図の方法

- ① 頂点Aを中心として, 辺BCと2点で交わる円をかき, その円と辺BCとの交点を点D, Eとする。
- ② 点D, Eをそれぞれ中心として, 互いに交わるように等しい半径の円をかき, その交点の1つを点Pとする。
- ③ 頂点Aと点Pを通る直線をひく。

この方法によって作図した直線APについて, 上の $\triangle ABC$ において成り立つことがらを, 下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 直線APは, 頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。
- イ 直線APは, 辺BCの垂直二等分線である。
- ウ 直線APは, $\angle BAC$ の二等分線である。
- エ 直線APは, 頂点Aを通り辺BCに垂直な直線である。

出題の趣旨

- 平成24年度調査での課題(角の二等分線の作図の方法について理解すること)や, 平成26年度調査で見られた課題(線分の垂直二等分線の作図の方法について理解すること)を踏まえ, 垂線の作図の方法について理解しているかどうかをみる

問題の概要

与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ

正答

エ
(頂点Aを通り辺BCに垂直な直線)

特徴的な問題例（中学校数学B）

B 2 前提の適切な判断（前提追究）

- 2 桃香さんと拓真さんは、お互いに数学の問題を出し合いながら勉強しています。
桃香さんは、次のような問題を作りました。



桃香さんが作った問題

x の値に対応する y の値は、次の表のようになります。
このとき、 $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

x	...	2	3	4	...
y	...	18	12		...

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 拓真さんは、桃香さんが作った問題について、 y は x の一次関数であると考えました。 y が x の一次関数であるとするとき、 $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

- (2) 桃香さんと拓真さんは、桃香さんが作った問題について話し合っています。

拓真さん「僕は、一次関数と考えてこの問題を解いたよ。」
桃香さん「私は、一次関数とは別の関数で考えて、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるようにするつもりだったんだよ。」
拓真さん「それなら、問題の最初に x と y の間の関係を書き加える必要があるね。」

桃香さんが作った問題の最初に、 x と y の間の関係を書き加えます。 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しいものを下のア、イの中から1つ選び、それが正しいことの理由を説明しなさい。

ア 「 y は x に比例しています。」を書き加えれば、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

イ 「 y は x に反比例しています。」を書き加えれば、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

出題の趣旨

- 前提が不足している場面で、次のことができるかどうかをみる
- (1)与えられた条件を基に、数量の関係を適切に捉えること
- (2)加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明すること

問題の概要

- (1) 一次関数の表から $x = 4$ のときの y の値を求める
- (2) $x = 4$ のとき $y = 9$ になるように、 x と y の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する

正答

- (1) 6
- (2) イ
(例) 反比例であれば $y = \frac{a}{x}$ と表される。

表の $x = 2$, $y = 18$ より、 $a = 36$ になるから、 $y = \frac{36}{x}$ と表される。

この式に $x = 4$ を代入すれば、 $y = 9$ になる。
したがって、「 y は x に反比例しています。」を書き加えれば、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。